

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	みずほひじり保育園
活動日時	令和 7年 4月15 日 (火)
クラス名(年齢)	ぱんだ組 3歳児

1、活動テーマ

<テーマ>

自然 春の花を見つけよう

<テーマの設定理由>

春の花に興味や関心を広げ発見や触れる楽しさを保育士や友達と共感し次への自然への興味や関心につなげていくため

2. 活動スケジュール

・春の花を見つける ・発見を知らせる

3、活動のために準備した素材や道具、環境の設定

図鑑 ビニール袋 ミラーレスカメラ

4、探究活動の実践

<活動内容>

今が春という季節であることを知らせ、春の花について絵本を見ながら知らせる。保育園にある春の花探しに園庭へ出る。春の花を見つけて発見を喜んだ周囲に知らせたり、見たり触れたり比べたりして色や形の違いに気付いていく。発見を周囲に知らせる事で、友達と関わり楽しさを共有する。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

① 「春の花には、どんな花があるかな？」と話をしてから園庭に出ると、「あったよ」と指差して知らせ周囲に発見を知らせ喜んでいった。「他にも咲いているかな？」と投げかけると他の子も「あったよ」と知らせ発見を楽しめるようになった。花の色にも問いかけると「黄色」と答え「白あった」と白いたんぽぽの発見もあり喜んでいった。 	② たんぽぽの綿毛を発見し「とぶかな」と友達と「フーツ」と吹いて「とんだね」と楽しさを共有していた。「ぼくも入れて」と仲間に加わり友達との関わりも楽しんでいった。「どこに綿毛があったの？」と聞くと「あそこにもあるよ」とたんぽぽの綿毛探しが始まった。 
③ 図鑑を用意すると、見つけた花と同じものがあるか比べていた。同じものを見つけると「先生、いっしょ」と教えてくれ、「よく見つけたね。同じだね」と声をかけると嬉しそうに笑い、図鑑にも興味を持ってくれた。 	④ 花の色の違いに気付くようになり、花を手にとっていると、茎を見て「先生、色が違うよ、見て、赤いよ」と一本のくきが黄緑色だけでなく赤いところがあることに気付く。「よく気付いたね。みんなにも教えてあげよう」と話すと「みんな見て」と見せて喜んでいった。細かい所まで見る観察の目が育っていることがわかった。 

5、振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

春の自然に触れ、発見をする喜びを感じられるようになった。自分の気づきを他児に知らせることで楽しさや喜びに広がりをもっていた。気づきを認める事で次の発見へとつながっていった。茎の色の違いに気付いたのには驚いた。タンポポ、シロツメクサ、つくしを見つけ花や草の違いに気付くようになった。たんぽぽを積んで「ママにプレゼントしたい」という子もいた。楽しい気持ちを自分の母親にも伝えたいという気持ちが伝わってきた。子ども達の心が動いているのを感じられた活動であった。これから移り変わる季節の変化も体験しながら心を育んでいきたい。
--